

大学分科会の審議状況について

大学分科会は、大学生の学びをいかに深めるかの観点から審議を重ねてきたが、大学教育部会において、大学が「学生の学修時間の増加・確保による主体的な学びの確立」を始点とした学士課程教育の質的転換に直ちに取り組み、文部科学省がそれをしっかりと支援すべきとの「審議まとめ」を取りまとめ。

さらに、評価制度の見直し、全学的な教学ガバナンスの在り方などについて審議を進め、今夏を目途に大学分科会として答申をまとめる予定。

1. これまでの審議経過

- 大学教育部会では、平成20年のいわゆる「学士課程答申」をはじめとする累次の答申、そして第5期大学分科会での議論を踏まえながら、部会として10回を超える審議を実施。
- 3月12日開催の大学分科会での議論を踏まえ、3月26日開催の大学教育部会において、これまでの議論についての「審議まとめ」案を審議し、決定。

2. 「審議まとめ」の基本的考え方

- 学生視点を重視し、学士課程教育の質的転換への好循環の第一歩（始点）として「学生の学修時間の増加・確保による主体的な学びの確立」に取り組む。
- 急激に変化する社会の中で、学生が、大学教育を通じ、自らの人生を切り開くための基盤を獲得できるかは切実な問題。
同時に、産業界や地域社会も先が見え難い中で、変化に対応し活路を見いだす原動力となる人材を切望。
- そのような個人や社会の強い期待に応えるには、大学教育の本質である主体的な学修によって、知的な成長ができるよう、学士課程教育の質を転換。
- 他方で、我が国の大学生の学修時間が少ないことが学士課程教育の成果に対する社会の不信の一つの背景でもあることを直視し、「待ったなし」の課題である学士課程教育の質的転換について、具体性や効果、緊要性などを考慮し、学生の学修時間の増加・確保による主体的な学びの確立にまず取り組む。
- 学修時間の増加・確保による主体的な学びの確立を始点としつつ、カリキュラムの体系化、教育の組織化など、学士課程教育の質的転換への好循環が各大学でまわり始めることが重要。

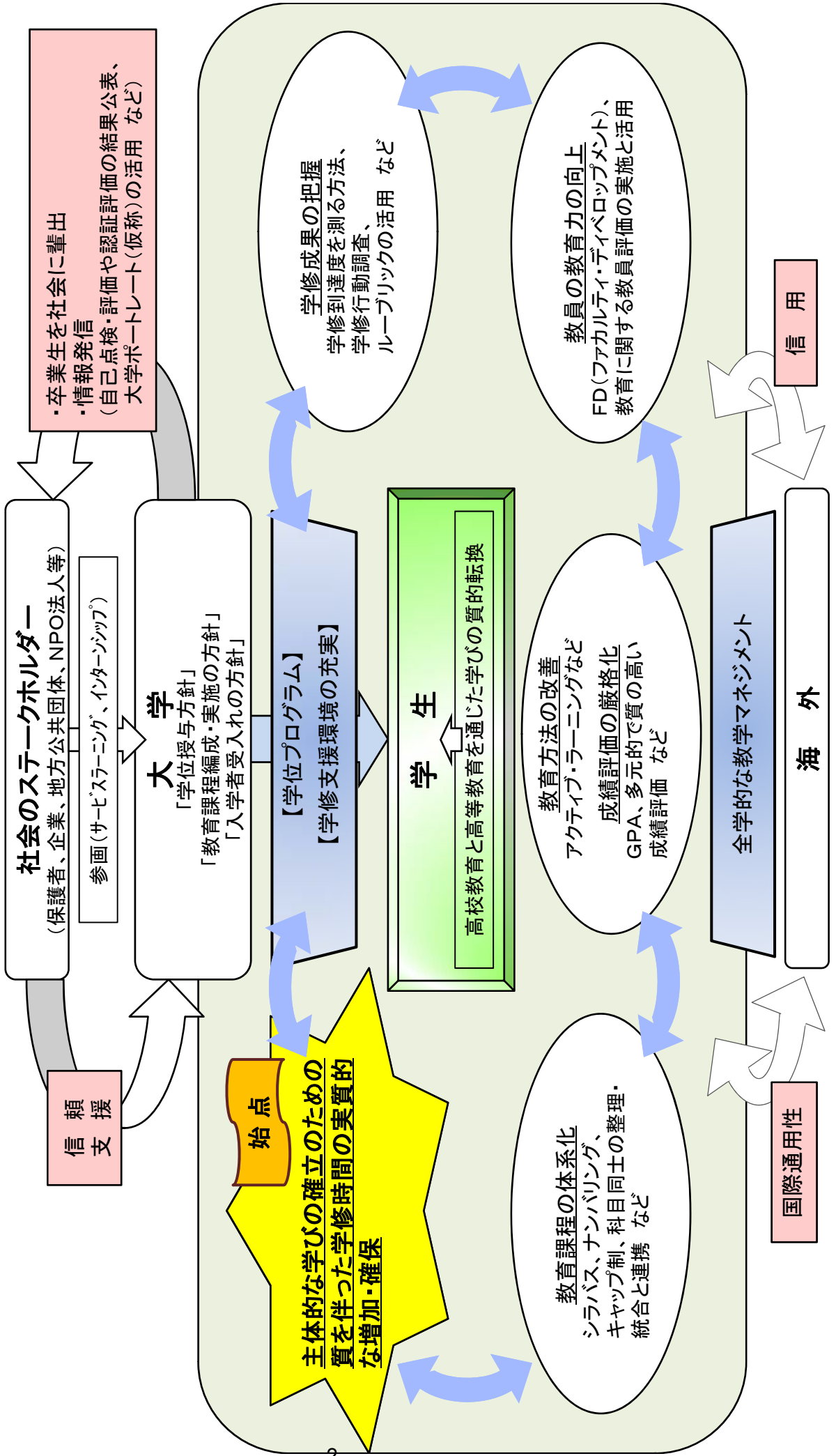
3. 今後の進め方

- 4月以降、全国各地の学生や大学関係者と議論する機会を設定。
- 評価制度の見直し、全学的な教学ガバナンスなどの在り方について、引き続き審議し、今夏を目途に大学分科会として答申を取りまとめる予定。

学士課程教育の質的転換への好循環の確立

・予測困難な今の時代を生きる若者や学生が「生涯学び続け、どんな環境でも「答えのない問題」に最善解を導くことができる能力」を育成し、知的な基礎に裏付けられた技術や技能を身に付けることができる大学へ

・そのためには、学生が主体的な学びを深めるとともに、学生同士が切磋琢磨し、相互に刺激を与え合いながら知的に成長することができるよう、学生の思考力や表現力を引き出し、その知性を鍛える双方向の課題解決型の能動的な授業を中心とした質の高い学士課程教育へと質的に転換



大学教育改革地域フォーラムの実施について（案）

1. 趣旨

- 中教審大学教育部会の審議まとめを受け、大学教育の質的転換を図るために必要な課題や具体的な取組等について、大学、教員、学生等の立場から幅広く議論するための地域フォーラムを開催。
- 大学関係者が広く危機意識を共有し、各人が自らの責任・役割を担って改革に取り組む「ムーブメント」が発生することを旨とする。

2. 全体スケジュール

- 4月～7月末の答申までの概ね3ヶ月間で10回程度開催することを目標とし、中教審の委員が所属する大学を中心に、地域バランス等も考慮しつつスケジュール調整を行う。
- 但し、必ずしも答申時期に拘らず、答申後も学士課程教育に関する議論がムーブメントとして広がっていくよう、計画的・持続可能なスケジュール設定を心がける。

<当面の日程の目安>

4月上旬	フォーラム開催候補、スケジュールの調整
4月28日(土)	第1回フォーラムの開催（於：関西国際大学）
5月16日(水)	第2回フォーラムの開催（於：熊本大学）
5月28日(月)	第3回フォーラムの開催（於：早稲田大学）
6月～7月	第4～10回フォーラムの開催(概ね月3回ペース)

3. 地域フォーラムのテーマ・実施方法の考え方

(1) 基本的な考え方

- 大学関係者の自発的な議論を促すため、主催大学の事情にあわせて多様なテーマや方法で実施。

(2) テーマ

- 「大学における学び」に関連したものから幅広く設定することとするが、なるべく具体的なテーマ設定となるよう求める。

(テーマの例) 「学生の主体的な学びを確立するため、どうすれば学修時間を確保できるのか。」

「学修時間の増加・確保は、実際に社会で役立つ学びにつながるのか。」

「大学の学修の内容と時間を、教員・学生・経済界はどう考えているのか。」

「大学での学びを深める上で、高校までの学習や入試は今のままでいいのか。」など

(3) 実施方法

- 例えば以下のような形式で行うなど、主催大学の意向により多様な実施方法で行えるようにする。

(A) パネルディスカッション: パネリストによるディスカッションと、一般参加者との質疑応答

(B) 熟議: 多様な当事者が少人数グループに分かれ、「熟慮」と「議論」を通じて課題の解決策を議論

(C) セミナー・講演会: 大学当事者・関係者による講演と、一般参加者との質疑応答

- 中教審委員、文部科学省(政務三役等)、職員、教員、学生(卒業生、留学生)、経済界、有識者等、幅広い当事者の参加を想定。

(4) フォーラムの結果の取扱い

- 地域フォーラムで出された意見の要約、結論をまとめたペーパーを作成し、中教審大学教育部会に報告するとともに、文部科学省ホームページに掲載。

検索

[トップ](#) > [教育](#) > [大学・大学院、専門教育](#) > [大学教育改革地域フォーラムについて](#)

大学教育改革地域フォーラムについて

大学教育の質的転換を図るために必要な課題や具体的な取組について、教員や学生など様々な立場から話し合うための「大学教育改革地域フォーラム」を下記のとおり開催しますので、お知らせいたします。

1 開催趣旨

- グローバル化や少子高齢化など急激に社会が変化する中、労働市場や産業・就業構造の流動化などにより、将来どのようなことが起こるか予測困難な時代を今の若者や学生は生きています。
このような時代にあって、大学が、若者や学生に対し、「生涯学び続け、どんな環境においても“答のない問題”に最善策を導くことができる能力」を育成することは、我が国の未来にとって重要な責務となっています。
- そのためには学士課程教育(※)を質的に転換する必要があり、その第一歩(始点)として、質を伴った学修時間を実質的に増加・確保することで、学生の主体的な学びの確立に取り組む必要があることを柱とした「審議まとめ」を、中央教育審議会大学分科会大学教育部会にて取りまとめました。
[中央教育審議会大学分科会大学教育部会「審議まとめ」【本文】](#)
[中央教育審議会大学分科会大学教育部会「審議まとめ」【パブリックコメント\(意見公募手続\)】](#)
- この「審議まとめ」を受け、大学教育の質的転換を図るために必要な課題や具体的な取組について、教員や学生など様々な立場から話し合うための「大学教育改革地域フォーラム」を開催することとしました。
- 大学関係者が広く危機意識を共有し、一人ひとりが自らの責任・役割を担って改革に取り組む「ムーブメント」が発生することを目指します。

(※)【学士課程教育】

従来の学部教育といったような「組織」に着目したものでなく、大学教育課程を修了したことで国際的通用性のある知識・能力の習得証明である「学位」を与える課程に着目して整理し直したものの。

2 実施概要

◇ 第1回

・日時


4月28日(土曜日)13時30分～16時00分

・場所

関西国際大学 尼崎キャンパス

・内容

[「大学教育改革地域フォーラム」2012 in 関西国際大学](#) (※[関西国際大学HPへリンク](#))

▶ [中央教育審議会大学分科会大学教育部会「審議まとめ」リーフレット](#)
(PDF:455KB) 

▶ [大学改革フォーラムの実施について](#) (PDF:76KB) 

お問い合わせ先

高等教育局高等教育企画課

電話番号:03-5253-4111(内線3323、3341)



PDF形式のファイルをご覧いただく場合には、Adobe Readerが必要です。
Adobe Readerをお持ちでない方は、まずダウンロードして、インストールしてください。

(高等教育局高等教育企画課)

[文部科学省ホームページトップへ](#)

[ページの先頭に戻る](#)

[お知らせ](#) [政策について](#) [白書・統計・出版物](#) [申請・手続き](#) [文部科学省について](#) [教育](#) [科学技術・学術](#)
[スポーツ](#) [文化](#)

[ご意見・お問い合わせ](#) [プライバシーポリシー](#) [リンク・著作権について](#) [アクセシビリティへの対応について](#)

文部科学省 〒100-8959 東京都千代田区霞が関三丁目2番2号
電話番号:03-5253-4111(代表) 050-3772-4111 (IP 電話代表) [案内図](#)

Copyright (C) Ministry of Education, Culture, Sports, Science and Technology

大学教育改革地域フォーラム

2012 in 関西国際大学

■フォーラムテーマ 『学生の主体的な学びを確立するため、 どうすれば学習時間を確保できるか』

大学進学率が5割を超える高等教育のユニバーサル段階の中で、中央教育審議会大学分科会大学教育部会では、「学士課程教育の実質化」、あるいは「質の保証」という論点を中心に、継続的に議論を進めてきた。その中で、学生の学習時間、学習密度を高めること、そのために組織的・体系的な教育が必要であることが議論の重点となった。審議のまとめとして、「関係機関において、今まさに大学で学んでいる学生を始め大学関係者や保護者、経営・人事の担当者等の企業関係者、地元地域の関係者等と直接積極的に議論を交わし、熟議を深める工夫を行うことも重要と考える」とされたことを受け、文部科学省では全国で大学関係者等が集まり議論を行うフォーラムの開催を呼びかけることになった。本学学長が中央教育審議会委員であることから、その呼びかけに応じ第1回目のフォーラムを本学において開催することになった。この結果は、中央教育審議会の答申に反映されることが予定されている。文部科学省代表者（予定）や中央教育審議会委員等の参加も得ながら「大学の学び」について、大学、教員、学生、産業界、一般市民等の立場から幅広く議論する。

■プログラム	13:00～	受付
	13:30	主催大学挨拶 関西国際大学 学長 濱名 篤
	13:40	パネルディスカッション
	16:00	総括・モデレーターによる議論のまとめ・閉会

入 場 無 料

開催日

平成24年
4月28日[土]
13:00～[受付]

会 場

関西国際大学 尼崎キャンパス
JR尼崎駅下車徒歩5分

お申込
方 法

参加申込書に必要事項を明記のうえ、
下記、E-mailまたはFAX番号へ
4月25日(水)までに
お申し込みください

●総合司会・モデレーター

・川嶋 太津夫 氏 神戸大学 大学教育推進機構教授

●パネリスト

- ・文部科学省代表者 (予定)
- ・板東 久美子 氏 文部科学省 高等教育局長
- ・濱名 篤 氏 関西国際大学 学長
- ・浅野 考平 氏 関西学院大学 理工学部教授
- ・小嶋 淳司 氏 がんこフードサービス株式会社
代表取締役会長
大阪商工会議所 副会頭

・関西国際大学学生